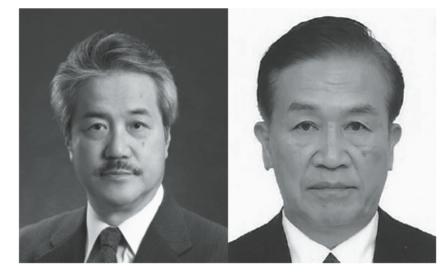
東北大学総長裁量経費と 研究不正隠蔽の構造

井上明久東北大学元総長の研究不正疑惑は2007年の匿名投書で顕在化してから13年が経過した。この間二重投稿やデータ使いまわし論文などの研究不正も発覚し多数の論文の取り消し・撤回などが相次いだ^{1,2)}。しかし大学執行部はもとより現役の部局トップが疑惑を口にすることはない。この主因の一つは、法人化後の東北大学総長裁量経費の膨張にあるのではないかと考えた。このことを実データから報告する。



大村 泉 高橋礼二郎

日本の科学者 Vol.56 No.5 May 2021

JIM96 論文 Fig.2

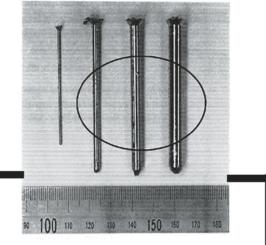


Fig. 2 Morphology and outer surface appearance of cylindrical Nd₇₀Fe₂₀Al₁₀ samples with diameters of 1, 3, 5 and 7 mm and a length of 50 mm prepared by copper mold casting.

JIM97 論文 Fig.2

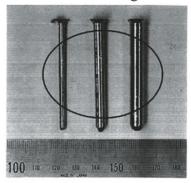
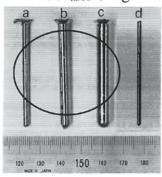


Fig. 2 Outer morphology of cast Zr₅₅Al₇₅Ni₁₀Cu_{12.5}Ag₅ cylinders with different diameters of 1, 3 and 5 mm.

JIM99 論文 Fig.1



1 Optical micrograph of cast bulk amorphous ${}_{0}Al_{2,3}Cu_{12,3}Ni_{20}Ag_{5}$ rods with diameters of 3, 4 and 5 mm (a to c) ${}_{2}Zr_{65}Al_{7,3}Cu_{12,5}Ni_{10}Ag_{10}$ cylinders with a diameter of 1.5 mm (d).

井上明久東北大学元総長の 研究不正疑惑(代表的論文)

JIM96 論文 Fig.2 の 楕円で囲った 3 本 部分が、JIM97 論文 Fig.2 と JIM99 論文 Fig.1 とに無断流用、後者は d が継ぎ接ぎされた合成写真、JIM96 論文 Fig.2 は Nd 基アモルファスだが、JIM97、JIM99 論文では、Zr 基アモルファスとされ、楕円で囲んだ 3 本の試料直径は JIM96 論文の 3,5,7 mm から、JIM97 論文では、1,3,5 mm に、JIM99 論文では、3,4,5 mm に書き換えられた、このような事実は、日本金属学会の 2019 声明で「不適切な過失」とされ論文「撤回」の根拠になった。

JIM:The Japan Institute of Metals and Materials 欧文誌:Materials Transactions (現:2000~);

旧: Transactions of The Japan Institute of Metals

図 1 JIM96 論文の図を無断流用

2016年12月以後の新展開の核心部分

- 1. 東北大学本調査委員会(四ツ柳隆夫委員長)、不正認定せず(2021年12月16日)
- 2. 2017年3月、日本金属学会 追認([単純な] 「過失」)
- 3. 2019年3月、日本金属学会 追認取消、論文「撤回」(科 学論文に不適切な過失)
- 4. 2020年3月、日本金属学会 論文賞授賞(2000年)記録の取り消し
- 5. 東北大学金属材料研究所教授会による「不適切」認定 (2021 年3月)
- 6. 齋藤文良・矢野雅文名誉教授の記者会見(2021.6.15)

现

報告書をまとめた。

この中

出出

う。

うち半数の3~

分が「問題が

ある」と主張していたとい

ところ、実際は委員6人の

委の議事録などを確認した

東北大名誉教授

されたが、斎藤氏らが調査

としたのは

「少数意見」と

論文を

「問題がある」

冉調査を求める

東北大の井上明久元総長

(水曜日) 6

不正を否定した第三者調査 の論文不正疑惑に関連し、 として、東北大の斎藤文良、 矢野雅文両名誉教授が15 と明らかにした。 日、宮城県庁で記者会見し、 委員会の運営に問題がある 究担当)に再調査を求めた 正は認められない」 査委は2016年12月、「不 小谷元子理事 井上氏の論文について調 ・副学長 (研 とする

元総長論文不正

議事運営は意図的で、委員長が大 学の結論に沿って議論をリード(問 われているのは「元総長に忖度す る大学の姿勢」)

矢野東北大名 誉教授の記者会見 2021年6月 1. 小谷元子理事に面会(6月14日)

本調査委員会議事録を見て驚いた

本調査委員会は6人 員長:四ツ 委 柳隆夫東北大名誉教授)でうち3人 .論文には「問題あり」(不正 が井上 判定)

側の結論から外れないよ されたとしている。14日に 文に問題はないとする大学 に忖度する大学の姿勢だ」「問われているのは元総長 委員を誘導する文言が散見 小谷氏と面談した斎藤氏は 議事運営についても、論 調査委の委員長が他の

東北大は動かず

- ◆動かないのは、総長+理事そして部局長
- ◆部局長はなぜ動かないのか?
- 1. 一事不再理。しかし、日本金属学会編集委員会は東北大学調査委員会の「不正を確認できず」という結論を追認した 2017年の学会編集委員会声明を2019年3月に破棄した。一 事不再理は学術論文の内容には適用されない。
- 2. 前任者が取り込まれた
- 3. 総長・理事への忖度(背景には総長裁量経費・傾斜配分予算)

総長裁量経費とは何か?

- 学長(総長)裁量経費: 学長リーダーシップに財政的基盤を 与える経費として1989 年度に創設
- ・法人化後は使い勝手の良い経費として、多くの大学で大幅に増加財源は、①運営費交付金のうち一般経費の5%、②大学への寄付金・科学研究費補助金等の競争的資金及び受託研究等経費に係る間接経費、③知財収入の一定割合など
- ・使途は、教育研究改革・改善経費、教育基盤設備充実経費、 教育研究環境整備経費などとされる(使途に特に制約なし)。

東北大学総長裁量経費規程(法人化発足時に制定)

第2条 総長裁量経費は、国立大学法人東北大学(以下「本学」という。)の教育研究活動の活性化、管理運営の円滑化を図り、全学的な視点から本学の一層の発展に資するために総長が用いる経費として設けるものである。

第3条 本学の総長裁量経費は、次の順序に従って編成し、決定する。

- 一 総長裁量経費の予算案の編成は、総長が行う。
- 二 総長裁量経費の財源は、次に掲げるものとする。
 - イ 本学が受け入れる<mark>寄附金のうち次に掲げるものを除き、その5パーセントに相当する額(細目省略)</mark>
 - ロ 科学研究費補助金等の競争的資金及び受託研究等経費に係る間接経費の別に定める割合に相当する額(注:間接経費の50%)
 - ハ 運営費交付金のうちから、総長裁量経費として充当する額(注:教員人件費の5%、ほか)
 - 二(特許関連の関係者への支払い残額)
- 三 総長裁量経費予算は、役員会及び経営協議会の意見を聴いて総長が決定 する。

第3条二の口、八は東北大学に独自的な規程

京都大や岩手大の総長(学長)裁量経費は 1年間で3億円前後

東北大の総長裁量経費は「国立大学最大規模」と豪語(東北大の文科省宛て報告書)

岩手大学の学長裁量経費

1. 特記事項

〇学長のトップマネジメントによる資源配分

学長による大学運営の方向性である、「グローカルな大学づくり」「復興活動の継続」「アイデンティティの涵養」「地域を先導」の4つの柱をもとに、平成30年度の重点取組事項としてまとめた「学長のトップマネジメントによる資源配分方針」に基づき、平成30年度予算を編成し、学長裁量経費として平成29年度と同額の261,218千円確保した。これをもとに、学長のリーダーシップにより、①「釜石キャンパス」に係る学生宿舎や図書館蔵書等の充実のための環境整備、②平成29年4月に立教大学と共同で設置した地域の空流活動拠点「陸前高田グローバルキャンパス」の事業費、③復興活動に基づく教育の推進と研究による地域の先導に係る取組として実施した「国際防災・危機管理研究 岩手会議」の実施に際しての支援、④学生の起業家マインド育成のための「学内カンパニー事業」等の重点事業に経費を投入し、事業の進展を図った。特に、学内カンパニーについては、地域企業や自治体との連携や共同開発を進展させ、テレビや新聞記事でも度々紹介されるなど注目される取組となっている。

(年度計画 61)

「平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書 令和元年6月 岩手大学 より抜粋

2017年(平 成29年度)、 2018年(平 成30年度) は同額で、 2.61億円

京大の総長裁量経費(2017年度)

Dynamic	IRを活用した大学運営に向け必要となる体制等の強化
	教学運営を支える教育情報活用(教育IR)推進事業
	經濟的学生支援強化事業
0.000	博士後期課程学生 特定研究学生制度(仮称)の創設
Original and Optimistic	「高大接続改革実行プラン」を視野に入れた、高大接続事業及び入学者選抜方法(検討を行う「高大接続・入試センター」の設立並びに強化
	京都大学基金寄付募集活動推進事業
	金学同窓会支援・卒業生連携強化のための推進事業
Women and Wish	男女共同参画推進事業

ゼンスを高める出版助成事業」及び「その他、本学が社会や世界に通じる窓としての役割を果たすために重点的に取り組むことが必要な事業」に措置するとともに、総長特別経費として「総長がリーダーシップを発揮し、大学の特色を一層伸張させるため、総長が必要と認めた教育研究支援等に必要な事業」に必要な経費措置を決定した。(平成29年度措置額:252百万円(43事業))

「2017(平成29)事業年度 事業報告書 国立大学法人京都大学 | より抜粋

総計:2.52億円

京大の総長裁量経費(2018年度)

さらに、総長のリーダーシップにより 教育研究の一層の充実を図ることを目 的として措置する総長裁量経費は、プロ ジェクト経費として、「学生を社会や世 界における活躍の場へと送り出す取組 を支援する事業」、「社会や世界に類を 見ない独創的な異分野融合教育研究活 動を推進する事業」、「京大の魅力を社 会や世界に向けて発信する教育研究活 動、広報・社会連携活動を推進する事 業」、「若手研究者の社会や世界におけ るプレゼンスを高める出版助成事業」及 び「その他、本学が社会や世界に通じる 窓としての役割を果たすために重点的 に取り組むことが必要な事業」に措置す るとともに、総長特別経費として「総長 がリーダーシップを発揮し、大学の特色 を一層伸張させるため、総長が必要と認 めた教育研究支援等に必要な事業」に必 要な経費措置を決定した。 (平成30年度 措置額:303百万円(48事業)

「2018(平成30)事業年度 事業報告書 国立大学法人京都大学」より抜粋

2018(平成30)年度は 3.03億円

東北大学の総長裁量経費は「国立大学最大規模」

【経営革新(Vision 4)】

本学の教育研究、組織運営等に係る企画戦略を総括するとともに、総長、理 事、副学長又は部局間の連携等を担う役割として、平成30年4月に「プロボスト」を新設し、その活動を支える組織として「総長・プロボスト室」を発足させた。

さらに、プロボストが総括する国立大学最大規模(平成30年度:約66億円、令和元年度:約76億円)の総長裁量経費については、特に、優秀な若手研究者への支援事業、外国人教員及び女性教員等の人材の多様化(ダイバーシティ)の推進事業や産学連携機能の体制強化、博士学生を対象とした本学独自の給付型奨学金等などを採択するとともに、AI教育の充実に向けたシステム構成の見直しや社会におけるイノベーション創出に向けた出資会社の設立など、「東北大学ビジョン2030」の実現に向けて戦略的・重点的な配分を行った。

「令和元(2019)事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間(平成28~令和元事業年度(2016-2019))に係る業務の実績に関する報告書/<<指定国立大学法人>>/令和2(20209)年7月/国立大学法人東北大学」(文科省HPからダウンロード、一部抜粋)

文科省報告数値は部局長連絡会議報告数値から乖離

予算(収入):42.6億;決算(支出):28.5億 差引額(繰越金):14.1億(2019(令和元)年度)

告事項13 局長連絡会議 育研究評議会 和2年7月21日

令和元年度 総長裁量経費決算について

〇予算額		(単位:千円)
区 分	予算額決算額差引額 備	考
彩 長 栽 量 経 費	(A) 4, 266, 532 (B) 2, 856, 198 1, 410, 334	

(予算額内訳)		(単位:千円)
区 分	決 算 額	備考
運営費交付金	1, 352, 486	
既定分	1, 152, 486	
学長裁量経費	200,000	
法人運営活性化支援分	0	
外部資金	3, 188, 923	
寄附金事業	105, 904	
間接経費等	3, 015, 714	
科学研究费等補助金	992, 992	
受託研究等	2, 022, 722	
技術移転等収入	67, 305	
前年度繰越金等	1, 479, 850	
建物整備計画部局返済額	20,000	
教員人件費中央管理分	342, 438	
小 計	6, 383, 697	
全学的基盤経費への充当額	▲ 1,617,165	
職員人件費への充当額	▲ 500,000	
合 計	A 4, 266, 532	

O#	択					(単位:件/千円)
	区分		2分額等	決算額	差引額	備考
			金 額	次并领	左が根	調布
1)	教 育	16	1, 064, 169	986, 332	77, 837	
2)	研 究	16	661,871	628, 344	33, 527	
3)	社会との共創	20	329, 107	236, 048	93, 059	
	①産学共創	6	237, 570	153, 879	83, 691	
	②社会連携	14	91,537	82, 169	9, 368	
4)	経営革新	38	1, 116, 701	1, 005, 474	111, 227	
	①大学経営	25	793, 920	682, 693	111, 227	
	2.営繕事業	13	322, 781	322, 781	0	
	合計	90	3, 171, 848	B 2, 856, 198	315, 650	

令和元(2019)年度の総長裁量経費の文科省への報告数値「国立大学最大規模(平成30年度:約66億円、令和元年度:約76億円)」と部局長連絡会議(2020年7月21日)報告の決算値(左:予算=収入;右:支出)は、大きく異なる。 乖離の理由は不明。

しかし、東北大の総長裁量経費が他大学に比し 巨額であるのは明白。

総長裁量経費原資(14、21年 は予算書、他は決算書から,単 位億円、百万以下切捨捨て)	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
運営費交付金	6.2	6.1	6.0	6.0	7.3	8.6	8.5	14.3	14.3	14.2	11.4	13.5	15.3	19.7
既定分							5.7	5.7	5.7	9.4	9.4	11.5	13.3	17.7
法人運営活性化支援分							2.7	2.7	2.7	2.7	0.0	0.0		
学長リーダーシップ経費								3.8	3.8					
学長裁量経費								2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
外部資金	32.9	32.3	27.6	27.8	28.4	30.9	28.4	29.3	25.7	25.9	27.8	31.8	38.7	38.9
寄付金事業							1.4	1.5	1.1	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0
間接経費等							26.7	27.3	24.0	24.2	26.1	30.1	36.5	37.1
科学研究費等補助金							12.0	11.0	10.5	10.1	9.9	9.9	9.4	9.7
受託研究等							14.6	16.2	13.4	14.0	16.1	20.2	27.0	27.3
技術移転等収入							0.2	0.4	0.5	0.5	0.4	0.6	1.1	0.8
前年度繰越金	13.1	14.0	9.5	12.3	30.2	20.1	22.5	14.8	16.6	18.9	12.5	14.8	14.3	15.61
建物整備計画部局返済額		8.2	5.1	5.1	1.9	2.0	0.9	1.2	8.0	0.4	0.2	0.2		
教員人件費中央管理分			13.1	12.9	18.1	15.6	8.6	7.6	5.8	4.3	1.8	3.4	2.6	2.2
小計	52.2	60.9	61.5	64.3	86.1	77.3	69.1	67.5	63.3	63.9	53.8	63.8	71.0	76.5
全学的基盤経費への充当額 (マイナス計上)	7.2	7.7	7.6	8.4	8.8	10.0	11.0	14.7	15.4	14.8	15.4	16.1	15.2	15.7
職員人件費予算への充当額 (マイ ナス計上)								6.3	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
合計	44.9	53.1	53.9	55.8	77.3	67.3	58.1	46.5	42.8	44.1	33.3	42.6	50.8	55.8

井上元総長(2006.11-2012.3)

里見前総長(2012.4-2019.3)

大野現総長(2019~)

巨額の総長裁量経費が生まれた理由と注意すべき事柄

- ◆井上元総長時代平均予算年額:51.8億円;里見前総長時代:58.0億円;大野現総長時代:45.6億円→Total:51.9億円
 - 一橋大の運営費交付金:59.6億円(2017年、全国50位)

岩手大の運営費交付金:69.1億円(同上、全国45位)

宮教大の運営費交付金:27.1億円(同上、全国77位)

- ◆ なぜ巨額なのか?
 - 1. 科研費、及び受託研究費の間接経費増加が最大要因
 - 2. 文科省から「法人運営活性化支援分」(2014~2017)「学長リーダーシップ経費」(2015, 2016)「学長裁量経費」(2015~)が追加され、なくなると減額分を運営費交付金から抜いたため
- ◆注意すべき事柄
 - 1.多額の前年度繰越金が毎年存在。理由不明
 - 2.「建物整備計画部局返済額」という「異質」な費目

運営費交付金ランキング(2017年)

順位	大 学	予算 額
1	東京大	82,414,673
2	京都大	54,349,871
3	東北大	46,347,089
4	大阪大	44,195,362
5	九州大	40,936,447
6	筑波大	40,701,060
7	北海道大	35,672,460
8	名古屋大	31,184,663
9	広島大	25,160,047
10	東京工業大	21,436,056
11	神戸大	20,617,734

45	岩手大	6,913,582
46	茨城大	6,802,073
47	埼玉大	6,370,410
48	東京農工大	6,115,546
49	大阪教育大	6,054,746
50	一橋大	5,962,190
51	奈良先端科学技術大学院大	5,816,371
52	滋賀医科大	5,751,723
53	浜松医科大	5,712,112
54	宇都宮大	5,538,765
55	旭川医科大	5,459,944
56	東京海洋大	5,407,393
57	北陸先端科学技術大学院大	5,293,758
58	九州工業大	5,193,749

総長(学長)裁量経費の使途と広報

- ●総長(学長)裁量経費が3億円前後の岩手大や京都 大の使途は研究教育支出が中心。京都大は採択結 果を学報で公開
- ●岩手大は、広報はしていないが、教員数が少ない ことから、誰がどの程度助成を受けたか学内ですぐ わかる
- ●東北大は総長裁量経費を文科省への事業報告で概要公表(しかし不正確)。学内サイトで予算、決算は報告するがURLを知る研究者は僅少。採択基準・継続基準など非公表

京大広報による総長裁量経費採択の公知 (学外ダウンロード可能)

京大広報 2015.6 No. 712



но. 750

平成27年度 総長裁量経費による採択事項

平成27年度の総長裁量経費については、下記の32件が採択された。 採択事項および対象部局等は次のとおりである。

採択事項および対象部局等は次のとおりである。									
プロジェクト等事項名		部	局	名		関	進	部	局
文学研究科の新・国際学術交流体制とグローバル人材育成 のための外国語支援事業	文	学	研	究	料				
米国連邦最高裁判所長官等による夏季講義	法	学	研	究	料				
化学教育におけるグローバル人材育成と国際化事業	理	学	研	究	料				
理学からのオープンサイエンスデータ推進事業	理	学	研	究	料				
理学研究科の研究・教育活動の広報活動・科学コミュニケ ーション人材育成事業	理	学	Of	究	料				
医学図書館整備による研究支援強化事業(海外医師免許受験 支援・オープンアクセスジャーナル投稿支援)	医	学	研	究	科				
遺伝医療を実践するためのコミュニケーション教育推進事業	医	学	研	究	料				
グローバル人材育成のための大学院学生のキャリアバス形 成支援	楽	学	研	究	料				
環境工学に関する新興国との国際人材養成基盤整備事業	1	学	研	究	料				
大学院教育改革, グローバル人材育成のためのベンチマー ク測定	I	学	研	究	料				
海外の研究・教育機関との「窓」となる次世代若手研究者の 育成	1	学	研	究	科				
フィールド・キャンパスを活用したグローバル人材育成事 業	79	ア・アフリ	リカ地	域研究研	究科				
「みやこの学術資源」研究拠点形成プロジェクト	人	文 科	学	研 究	所				
日・独および日・英エネルギー理工学双方向パラレルセミ ナー	* *	トルギ・	- 理コ	(学研)	化所				
MU レーダー IEEE マイルストーン受賞記念式典	生	存 1	B 6	矛 究	所				
ウイルス研究情報ハブの構築事業	ゥ	イール	X	研 究	所				
東京電力福島第一原子力発電所事故由来環境汚染対応のた めのモニタリング技術開発及び汚染の追跡・将来予測事業	NO.	子	þi g	15 験	所				
国際認証を視野に入れた医療者のプロフェッショナリズム 教育を牽引していく指導者・ファシリテーターの育成	医	学 部	附	属 病	院				
HeKKSaGOn(ヘキサゴン)コンソーシアム活用の外国語学 習・異文化理解促進による国際化推進事業	学者	行情報メ	ディ	アセン	7 —	人間・現 情報環境		究科.	
マイクロフィルム電子化による貴重資料のデジタルコンテ ンツの拡充	学者	折锥メ	ディ	アセン	7 -	経済学研 人文科学 東南アシ	研究所		2科。 学文書館
グローバル化する本学に対応したオンライン利用者システ ムの国際化と機能向上事業	低着	1.物質科	学研	究セン	9 —				

令和2年度 総長裁量経費採択事項

令和2年度の総長裁量経費については、下記の28件が採択されました。 採択事項および対象部局等は次のとおりです。

採択事項名	部局等名	関連部局等
視覚障害学生への学習支援	文学研究科· 文学部	学生総合支援センター
卓越した課程博士論文の出版助成事業	文学研究科 · 文学部	
若手研究者出版助成事業	教育学研究科・ 教育学部	
若手研究者に係る出版助成事業	法学研究科· 法学部	
若手研究者の優秀学位論文等出版事業	経済学研究科· 経済学部	
経済資料センター所蔵未整理・未公開資料の デジタル化に向けた調査等事業	経済学研究科· 経済学部	
京都大学桂図書館スタートアップ事業	工学研究科· 工学部	附属図書館
京都大学工学部建築学教室創立 100 周年記念 「京大建築学と千年の時空(仮題)」出版事業	工学研究科 · 工学部	防災研究所, 地球環境学堂, 人間・環境学研究科
食料・環境・農業に関する人文・社会科学領 域の学位論文に対する出版助成事業	農学研究科· 農学部	
「清風荘と近代の学知」出版事業	人間·環境学研究科· 総合人間学部	医学研究科,大学文書館
若手研究者出版助成制度	人間·環境学研究科· 総合人間学部	
外国人研究者等宿泊施設リノベーション事業	霊長類研究所	
東南アジア研究に関わる若手出版助成	東南アジア地域 研究研究所	
京都大学発「先制医療」具現化のためのデー タベース構築プロジェクト	医学部附属病院	
サイバーフィジカル混成による全学向けフィー ルド実習 教育の展開	学術情報メディア センター	フィールド科学教育研究 センター, 農学研究科, 理学研究科, 生存圏研究所, 人間・環境学研究科
オープンコースウェア (OCW) ブラットフォー ムのリニューアル事業	高等教育研究開発 推進センター	情報環境機構, 事務本部(教育推進・学 生支援部)
ワシントン条約に基づく特定科学施設登録の ための基礎調査	総合博物館	理学研究科, 農学研究科, 薬学研究科, 人間・環境学研究科, 生態学研究センター

総長裁量経費支出(14、21年は予算書、他は決算書から,単位 億円、百万以下切捨)	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1)教育	0.8	1.8	2.9	3.5	4.3	4.8	6.5	7.8	7.5	7.4	7.1	9.8	11.9	10.1
2)研究	2.6	2.1	1.9	1.1	1.8	1.5	3.9	3.0	5.2	6.7	3.3	6.8	9.0	8.4
3)震災復興 18年決算以降 3)社会との共創							0.8	2.3	1.9	0.4	1.8	2.3	3.8	3.9
4)産学連携 18年決算以降 3)の①産学共創							0.3	0.3	0.9	1.2	1.2	1.5	3.6	3.8
5)社会連携 18年決算以降 3)の②社会連携	0.8	0.7	0.5	0.5	0.40	0.3	0.6	0.9	0.7	0.7	0.6	0.8	0.2	0.1
6-1)キャンパス環境 18年決算以降 4)経営革新	8.4	5.1	5.5	2.1	7.0	5.1	1.9	6.7	1.6	5.7	8.2	10.0	9.1	8.0
6-2)営繕事業 18年決算以降 4)の①大学経営	5.0	3.9	3.6	6.2	5.2	11.3	2.7	5.6	2.8	3.8	5.2	6.8	7.9	4.3
7)大学経営 18年決算以降 4)の②営繕事業		3.7	1.6	1.0	5.2	2.7	3.6	2.8	3.0	5.6	2.9	3.2	1.1	3.6
一般支出計	17.9	17.5	16.3	14.8	24.2	25.8	20.6	29.7	23.8	31.8	20.5	28.5	33.9	30.5
学内財源を活用した新たな整備手法による建物整備計画	12.9	26.0	10.1	8.7	20.4	8.4								
尚志プログラム(仮称)実施経費														
東北大学学内重点戦略プロジェクト支援経費			15.2											
東北大学災害復興・地域 再生重点研究事業構想				1.9	1.2	1.0								
東北大学グローバルビジョン(里見ビジョン・部局ビ ジョン)						3.5								
厚生補導施設等充実経費				0.1	0.7	0.2	10.2							
震災復旧に係る勤勉手当成績優秀者分					10.6	5.6								
支出合計	30.8	43.6	41.6	25.5	57.2	44.7	30.9	29.7	23.8	31.8	20.5	28.5	33.9	30.5
収入-支出	14.0	9.5	12.3	30.2	20.1	22.5	27.2	16.7	18.9	12.2	12.8	14.1	16.8	25.3

注:支出費目3)~7)は2018年決算以後廃止されたり(震災復興、キャンパス環境)名称や位置付けが変わる。

東北大の総長裁量経費の使途は多彩毎年巨額の繰越金

- ●東北大の総長裁量経費予算の支出費目は教育・研究に限定されない
- ●他にも「震災復興」(2018年決算以後「社会との共創」) 「産学連携」「社会連携」「営繕」「大学経営」「キャンパス環境」「学内財源を活用した新たな整備手法による建物整備計画」など、多岐にわたる
- ■総長裁量経費の相当部分が、大学のインフラ整備の財源化
- ■毎年の収入(予算総額)と支出の間に大きな差(前年度繰越金原資)がある

2019年度の応募数は平均2倍強、 営繕事業は5倍弱の競争

2019年度東北大学総長裁量経費要求及び配分実態(単位:億円、百万円以下切捨)

事業区分	応募数	応募額	採択数	配分額(決算)	理事・副学長 担当件数	理事・副学長 担当案件配分額
1)教育	44	30.2	16	9.8	7	4.5
2)研究	28	10.9	16	6.2	11	1.5
3)産学共創	7	4.0	6	1.5	4	0.9
4)社会連携	25	1.5	14	0.8	9	0.4
5)大学経営	45	21.7	25	6.8	19	5.44
6)営繕事業	68	22.4	13	3.2	9	不明
計	219	91.1	90	28.3	59(65%)	12.7(50%)

予算はあるのに (毎年多額の前年度繰越金が発生しているのに)部局の応募提案を採択しない。理由は不開示

総長裁量経費担当部局の過半は理事/副学長

2017年度東北大学総長裁量経費要求及び配分実態 (単位:億円、百万円以下切捨)

		(- - -		1 36/ 1 93/10/		
事業区分	応募数	応募額	採択数	配分額	理事·副学長担 当件数	理事・副学長担 当案件配分額
1) 教育	37	12.8	11	7.4	3	3.4
2) 研究	36	14.3	14	6.7	9	1.9
3)震災復興	15	0.9	6	0.4	6	0.4
4)産学連携	11	1.9	6	1.2	4	0.4
5)社会連携	14	1.1	8	0.7	7	0.6
8)大学経営	28	8.3	14	5.6	13	4.1
6)キャンパス環境	19	7.9	6	5.7	4	5.4
7)営繕事業	73	27.4	12	3.8	6	不明
計	233	75.1	77	31.8	52(67%)	16.2 (58%)

理事・副学長が担当する案件が多数あるが、現実に当該の案件を執行している部局、研究者、事務職員(事務部門)が誰(あるいは何処)なのか全く不明。情報開示がない

2017年度東北大学総長裁量経費要求及び配分実態 (単位:億円、百万円以下切捨)

事業区分	応募数	応募額	採択数	配分額	理事・ 副学長 担当件 数	理事・副 学長担当 案件配分 額
1)教育	37	12.8	11	7.4	3	3.4
2)研究	36	14.3	14	6.7	9	1.9
3)震災復興	15	0.9	6	0.4	6	0.4
4)産学連 携	11	1.9	6	1.2	4	0.4
5)社会連 携	14	1.1	8	0.7	7	0.6
8) 大学経 営	28	8.3	14	5.6	13	4.1
6)キャン パス環境	19	7.9	6	5.7	4	5.4
7) 営繕事業	73	27.4	12	3.8	6	不明
計	233	75.1	77	31.8	52(67 %)	16.2 (58%)

	部	局	名	華	;	¥.	名	等
1	医学系研	究科		医学部 1号	館屋上	访水改修	工事	
2	学術資源	公開研究	ピセンター	開園60周年	記念に「	向けた植	物園施	設営繕事業
3	生命科学	研究科		浅虫海洋生	物学教育	育研究セ	ンター	護岸補修工 事
4	多元物質	科学研究	所	機械工場棟	環境整備	青		
5	電子光理	学研究も	:ンター	電子光理学 工事	研究也:	ンター実	験棟第·	一実験室改修
6	医学分館			医学分館基	幹設備列	更新		
7	理事 (教 国際交流		支援・教育	厚生会館除	外施設で	食修工事		
8	理事(教 国際交流		支援・教育	川内応急学	生寄宿名	含改修工	*	
9	理事(教 国際交流		支援・教育	川内サーク。	ル部室材	*改修工	#	
10	理事(教 国際交流		支援・教育	既存ユニバ	ーシティ	ィ・ハウ	ス機能	強化経費
11	理事(財 画担当)	務・施設	と - キャンハ ス計	川内南地区	雨水排ス	k管等改	修工事	(4-2)
12	理事(財 ス計画担		ナ・キャンパ	青葉山・川	为团地制	合水設備	更新工	F

右:採択された営繕事業12件

2019年度東北大学総長裁量経費要求及び配分実態(単位:億 円、百万円以下切捨)

事業区分	応募数	応募 額	採択数	配分額(決算)	理事・ 副学長 担当件 数	理事・副 学長担当 案件配分 額
1)教育	44	30.2	16	9.8	7	4.5
2)研究	28	10.9	16	6.2	11	1.5
3) 産学 共創	7	4.0	6	1.5	4	0.9
4)社会 連携	25	1.5	14	0.8	9	0.4
5) 大学 経営	45	21.7	25	6.8	19	5.44
6) 営繕 事業	68	22.4	13	3.2	9	不明
計	219	91.1	90	28.3	59 65%	12.7 50%

_		
	部 局 名	事 業 名 等
1	医学系研究科	医学部艮陵会館排煙設備更新工事
2	? 情報シナジー機構	東北大学光ファイバケーブル移設工事
3	大学病院	東北大学(病院)西病棟吸収式冷凍機更新工事
4	金属材料研究所	金属材料研究所アルファ放射体実験室換気設備 改修工事
5	理事・副学長(教育・学生 援担当)	支 八木山3 奈消防用設備更新工事
6	理事・副学長(教育・学生 援担当)	支 川内キャンパス厚生会館高圧受電設備更新工事
7	理事・副学長(総務・財務 国際展開担当)	鳴子会館改修工事
8	理事 (人事労務・環境安全 施設担当)	川内南地区雨水排水管等改修工事(4-4)
9	理事 (人事労務・環境安全 施設担当)	· (青葉山) 特高変電所他電力監視設備更新工事 (2-1)
10	理事 (人事労務・環境安全 施設担当)	(片平)特高変電室外部建具改修その他工事
1	理事 (人事労務・環境安全 施設担当)	本部棟4空調設備改修工事
1:	理事 (人事労務・環境安全 施設担当)	(片平)総合研究棟(旧金研10号館)改修工事
1:	理事 (人事労務・環境安全 施設担当)	星陵団地給水設備更新工事

右:採択された営繕事業13件

2018(平成30)年度 総長裁量経費研究費 決算

_				,									(単位:	ומד
l	部	Ri	名	#	業	名	等	実 施	度	配分額	決算額	差引	備	考
1			センター 究所	人文社会系に 催支援経費	おける国際	フォーラ	ラム及びYI.P翻	щ		1, 000	1,000	0		
2				学際科学フロ (研究費・選		究所に依	系る支援経費	п		53, 742	63, 742	0		
3	研究推	進・支援	機構	設備の有効活	用推進への	取組		ш		23, 000	23, 000	0		
4	金属村	料研究所		産学官広域連 整備事業への		性化プラ	ラットフォーム	ш		4, 500	4, 500	0		
5	加齢医	学研究所		革新的医療機 試験環境の国			を 献する非臨床 への支援経費	ш		7, 500	7, 500	0		
6	多元物	質科学研	究所				-ション創出ダ ■集への支援経			6, 200	6, 200	0		
7	材料料	学高等研	究所	材料科学高等	研究所支援	経費		Ш		100, 000	100, 000	0		
8	電子光	里学研究	センター	電子光理学研	究拠点事業	支援経過	₹ (6-3)	ш		10, 000	10, 000	0		
9	ニュー ター	トリノ料	学研究セン	極低放射能技 プロジェクト		ユートリ	リノ研究高度化	ш		8, 000	8, 000	0		
10		列学長 (聚展開担	総務・財 当)	人文社会系推 フィス運用経		コラボレ	ノーション・オ	п		1,500	1, 500	0		
11	理事・副	副学長(研究担当)	高等研究機構	における国	際共同研	H究体制構築	ж		22, 071	22, 071	0		
12	理事・高	削学長(研究担当)	「革新的研究 T)」支援経		ログラム	(ImPAC	ш		15, 700	15, 700	0		
13	理事・資	9学長(研究担当)	「東北大学」	L C推進会	識」調強	泛活動等経費	ш		4, 000	4, 000	0		
14	理事・記) 学長(研究担当)	東北放射光施 備	機の利用開	拓/産学	連携体制の整	ш		37, 000	37, 000	0		
15	理事・高	7学長(研究担当)	Falling Walls	Lab Send	ai 2018		ш		5, 000	3, 047	1, 953	補助会獲 よる支出	得に 滅
16	理事・副	削学長(研究担当)	独立基盤形成 る支援経費	事業(科学	研究費單	成事業)に係	ш		6, 500	6, 500	0		
17	理事・資	1)学長(研究担当)	東北大学若手	研究者に係	る財政的	支援経費	лг		2, 280	2, 280	0		
18	理事・闘	9学長(研究担当)	高等研究機構	折貨城創成	部分野支	援経費	п		9, 542	7, 910	1, 632	事業計画 による支	変更 出滅
19	理事·語 震災復興	別学長(2 関推進担	社会連携・ 当)	社会にインバ・ 化	ナトある研	究推進に	よる研究力強	Щ		22, 825	22, 825	0		
			合		#t					340, 360	336, 776	3, 585		

※学長駐量経費充当事業

2019(令和元)年度 総長裁量経費研究費 決算

r													_		(.44	位:干円)	
		85	局		å	*	*	名	*	実施度	配分板	決 !	# 額	差	31	備	考
	1	学際科学	学フロ:	ンティ	ア研究	学際科学フロ (研究費・運		で所に係る	支援経費	п	362, 733	2	38, 670		24, 063	教員の転出 出滅	による支
	2	材料科学	产高等	研究所	fi	材料科学高等	研究所支援将	費		п	100, 000	1	00, 000		0		
	3	電子光明	皇学研?	突せと	/9 -	電子光理学研	实拠点事業支	接接費	(6-4)	п	10,000		10, 000		0		
	4	==- 9-	トリノキ	科学等	現代セン	極低放射能技 プロジェクト		ートリノ	研究高度化	ш	8,000		8, 000		0		
	6	東北メケク機構	ディカル	ル・カ	げパン	次期TMM計画に	向けた事業	基盤構築	支援経費	п	8,000		8, 000		0		
	6	理事・日	胖学長	(研算	(担当)	次世代放射光 の強化・学術			・産学連携	п	37, 000		37, 000		0		
	7	理事・日	胖子長	(研算	(担当)	「東北大学!	LC推進会議	知査法	勤等程費	п	5, 780		5, 780		0		
	8	理事・	胖学長	(研算	(担当)	高等研究機構	における国際	李共同研究	(体制構築	п	22, 471		22, 471		0		
	9	理事・副	胖学長	(研算	(担当)	Falling Walls	s Lab Senda	i 2019		п	4, 500		4, 500		0		
	10	理事・日	胖子長	(研算	(担当)	物質・材料研 パートナーに	究機構 (NIMS) 係る研究支援	との戦略 経費	的共同研究	п	6, 620		6, 620		0		
	11	理事・	胖学長	(研算	(担当)	研究推進・支 レーションセ			ミニスト	п	8, 892		8, 892		0		
. [12	理事・日	胖子長	(研算	(担当)	独立基盤形成 る支援経費	事業(科学研	中究費助成	事業) に係	п	3, 600		3, 600		0		
	13	理事・夏	胖子長	(研算	(担当)	高等研究機構	新領域創成自	8分野支援	経費	п	17, 385		17, 385		0		
	14	理事・副	胖学長	(研算	(担当)	東北大学若手	研究者に係る	制数的支	接経費	п	6, 936		6, 936		0		
	15	理事・日	胖子長	(研算	(担当)	新領域創成の	ための挑戦を	教デュオ	支援経費	ш	51, 850		42, 386		9, 464	採択件数の (当初10件 件)	
	16	理事・ 個災復列	学長 現権進	(社会 担当)	連携・	社会にインバ 化	クトある研究	を推進によ	る研究力強	п	8, 104		8, 104		0		
					â		21				661, 871		28, 344		33, 527		

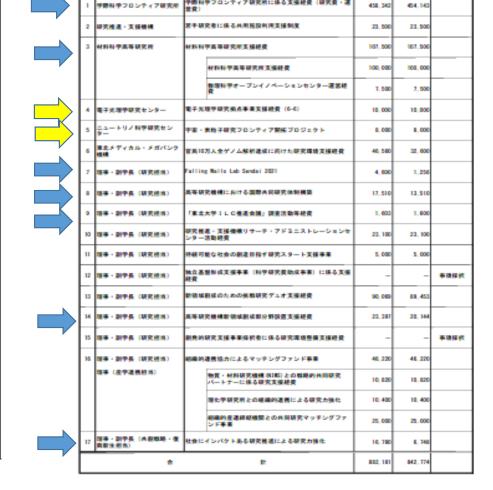
4年継続: 2年継続: 📥

2020 (令和2)年度 総長裁量経費研究費 決算

2021(令和3)年度 総長裁量経費研究費 予算(第 1 回) 2021年4月30日 部局長連絡会議

要求權 配分額

																	(#46	(: 千円)
	部	局	4	K	*		*	8	i	*	Sil	分額	決	算額	差	31	编	*
1	学際科学	フロン	ティフ	研究所	学際科学フロ: 運営費)	ンティ	ア研究所	に係る	支援経費	(研究費・		438, 456		432, 659		5, 797	教員の転出 究費の滅	による研
2	研究推進	・支援	模構		ヘリウム液化	システ	ムに係る	環境整	備費			6, 400		6, 400		0		
3	研究推進	・支援	模構		「若手研究者 の場の割出	共用部	设備利用 3	支援制度	関」による	創発的研究		5, 300		43, 695	•	38, 395	利用件数の	増
4	材料科学	高等研	究所		材料科学高等	研究所	支援経費	t				105, 000		105,000		0		
6	電子光理	学研究	センタ	-	電子光理学研	究拠点	事業支援	経費(6-5)			10, 000		10,000		0		
6	ニュート	リノ科	学研究	セン	宇宙・素粒子	研究フ	ロンティ	ア開拓	プロジェ	クト		8, 000		8, 000		0		
7	東北メデ 機構	ィカル	• * †	i バンク	次類東北メデ· 基盤環境整備		メガバン	ク計画	(第3段費	曽) に向けた		75, 000		75, 000		0		
8	未来型医	療割成	センタ	-	未来型医療実施 機鎖)の設置			研究設	備(クラ	イオ電子類		10, 000		10,000		0		
9	理事・副	学長(研究机	(当)	「東北大学Ⅰ	LC推	進会議」	調査活	勤等程費			680		680		0		
10	理事・副	学長(研究机	(当)	高等研究機構	におけ	る国際共	同研究	体制構築			13, 510		15, 302	•	1,792	海外からの 増	渡航者の
11	理事・副	学長(研究机	(当)	物質・材料研] ナーに係る研]			の戦略	的共同研	究バート		7, 570		5, 339		2, 231	新型コロナ の影響によ 滅等	ウイルス る旅費の
12	理事・副	学長(研究机	(当)	研究推進・支! センター活動(リサーチ	· 7 F	ミニスト	レーション		16, 300		16, 300		0		
13	理事・副	学長(研究机	(当)	新領域創成の対	ための	挑戰研究	デュオ	支援経費			89, 617		89, 617		0		
14	理事・副	学長(研究机	(当)	高等研究機構	新領域	割成部分	野支援	经费			20, 071		20,071		0		
15	理事・副	学長(研究机	(当)	東北大学 新型 ト	100	トウイルス	ス対応	特別研究	ブロジェク		20, 000		20,000		0		
16	理事・副	学長(研究机	(当)	独立基盤形成? 費	事業(科学研究	費助成	事業)に	係る支援経		3, 300		3, 300		0		
17	理事・副	学長(研究机	(当)	創発的研究支持	侵事業	採択者に	係る研	实環境整	備支援経費		30, 000		36,000	•	6,000	探択人数の	増
18	理事・副	学長(研究机	2当)	Falling Walls	Lab S	Senda i 202	20				1, 990		1,990		0		
19	理事・副 災復興権			携・震	社会にインパ	クトあ	る研究推	進によ	る研究力	強化		9, 048		9, 048		0		
				ŵ			21					870, 242		908, 401	•	38, 159		



東北大の総長裁量経費支出にみられる諸問題

- ✓予算と呼ばれる収入総額と支出総額の差が14年平均で毎年18.0億円、最大が30.2億円、最低でも9.5億円ある(2008~2021年、予算ベース2年含む)
- ✓差額は繰越金として処理されている。内容開示はごく一部
- ✓2年次分のサンプル調査だが、総長裁量経費申請案件は採択案件の2~3倍あり、 営繕事業などは5倍を超えていた。それも関わらず、予算執行を凍結し、繰り越す 理由が不明。
- ✓文科省への事業報告と学内の決算報告の数値が大きく乖離(文科省には「令和元年度約76億円」と報告、決算では、予算総額42.6億円、支出総額は28.5億円、繰越額は14.1億円)
- ✓相当数の採択案件の担当部局が理事または副学長になっていて、実際の事業 担当部局や担当者が不明
- ✓事業の採択及び継続基準が不透明

むすび

東北大学の総長裁量経費の運営実態を垣間見ると、各部局長が自前予算の確保で厳しい状況に置かれているかがよく分かる。また総長や理事に批判的対応を取ることが極めて困難であるのもわかる。

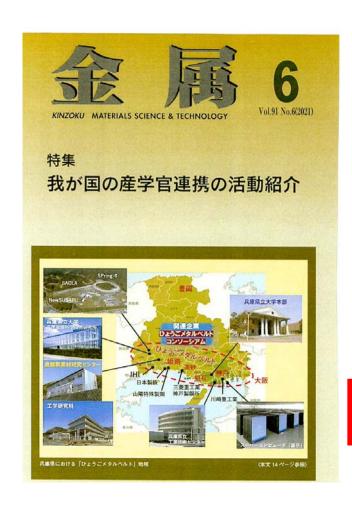
他方、日本金属学会編集委員会が、元会長ら六人の要請を受けて以前の立場を考え直し、元総長の疑惑論文およびその元論文の両方を、科学的根拠を公知して「撤回」に処した事実、齋藤、矢野名誉教授の会見、早稲田名誉教授の論説等で、疑惑論文を本調査した四ツ柳委員会の運営や結論の導き方が、委員会の議事録等に照らして大きな疑義がある事実が判明している。これらは極めて重いものがある。なぜなら事柄が東北大学の学術的信用の核心に関わるからである。

注:元調査委員会委員で、「問題あり」と主張されていた本間基文および久道茂の両氏は、 当該論文の撤回を踏まえて、2019年5月に、当時の研究担当理事に面会して再調査を要請 されている。

このような理由から、当該議事録の全面公開と疑惑の再調査という、これら名誉教授の要請に東北大学の各部局長が率先して加わり、大野総長と小谷担当理事・副学長に申し入れていただけることを念願する。

参考 調査委員会議事録等の問題に関する論説記事(『金属』2021年7月号)

6月15日、齋藤文良、矢野雅文両名誉教授が、県政記者会で記者らに説明され た調査委員会議事録等の問題点が、実例を挙げて紹介されていると聞く。



金 属

2021年7月号予定

特 集「熱を操れ」NIMS WEEK 2020 最新成果

特集にあたって

界面熱抵抗の予測と利用

低温熱源を有効活用する環境調和型熱電材料・デ バイスの開発

磁性材料で熱の流れを捉える:異常ネルンスト効果を用いた熱流センサ研究の進展と展望

新原理高性能熱電材料の開発および IoT 自立電源 実用化の展望

柔軟シリコーン系多孔体の作製法開発と断熱応用

私の視点 こわいものへのレジリエンス一断層を知る一

連載 シルクロードの交易都市 アク・ベシム遺跡 (2) シルクロードの民 ソグド人が利用した植物

> 室内植物による効用と利用の実態(6) 植物による心理的影響における個人差

音楽つれづれ草(20)

論 説 異なる合金の原板(ネガ)が区別できていない 管理下の研究は極めて疑問-東北大調査委員 会報告(2016年12月16日付)の不可解な扱い- 明日(2021年6月25日)下 記タイトルの論説を収録し た雑誌が発売される。

執筆者は早稲田嘉夫東 北大学名誉教授、日本金 属学の第54代会長。学会 の編集委員会宛てに再検 討を要請した 元会長ら六 人の一人。